北清水地域でほ場整備事業スタート

起工式で鍬入れする関係者のみなさん

米需要の低下とともに生産調整面積の拡大、米価格の引下げなど、近年の稲作農家をとりまく環境は大変厳しい状況にあります。これからの農業経営は、生産コスト削減のため、分散ほ場の集団化や農作業受委託経営等により規模拡大を図って行かなければならない時代で、そのためにはまず、集団化を促進するためのほ場整備が必要です。

当町北清水地域で実施される基盤整備事業は、平成9年4月に「担い手育成基盤整備事業」の採択を受け、北清水工区で事業実施に向け着々と準備事務を進めていましたが、昨年12月12日に関係者多数を集めて起工式が行われました。

事業実施の経緯

農業をとりまく環境は、米問題、農業就労者の老齢化など全国的な問題を抱え、21世紀を迎えようとしています。

北清水地域は、営農意欲のある担い手農家が多く存在していますが、ほ場形態は10ａ区画が主体で、作業効率が悪く、大規模経営には不向きな地域となっていました。このため、地域では数年前から作業効率の向上を図ろうと大区画のほ場整備を検討、希望しておりましたが、平成9年4月に「担い手育成基盤整備事業」によるほ場整備が決定し、東金土地改良事務所の指導のもとに設立された北清水工区で準備事務を進めてきたところであります。そして、昨年12月に起工式も無事終了し、今後は、平成13年度の完了をめざして工事が行われる予定です。

事業の概要

▼工事面積
約119ha

▼区画形状
標準は、短辺100m×長辺100～300m

▼ほ場標高
隣接ほ場を含めて均ぺい
（農道ターン方式が可能なほ場標高）

▼道　路
支線耕作道は、5～4m幅員

▼用水路
全域パイプライン化

▼揚水機場
現況施設に加圧揚水機を設置

▼排水路
ほ場区域内に新たな排水路は設けず、排水口により貯留調節を行う方式

▼暗渠排水
地下水排除と用水貯留管理とを併用した方式

▼換　地
事前換地方式

受賞
おめでとうございます

―敬称略―

●地方自治法施行50周年記念監査事務功労者
自治大臣表彰
田子　一雄（本町2）

●平成9年度千葉県教育功労表彰
大木　崇生（横芝中学校校長）

●千葉県社会教育委員連絡協議会表彰
個人表彰の部
伊藤　善一（古川）
団体表彰の部
横芝町中央公民館クラブ連絡協議会

●山武地方社会教育功労表彰
及川　有朋（入間）

●税に関する作文
東京国税局長賞
長尾　考浩（横芝敬愛高校）
東金税務署長賞
川島　融（横芝敬愛高校）
小林　明人（横芝敬愛高校）
行木　博美（横芝中学校）

寄付

木戸台にお住まいの**伊藤顕**さんから「社会福祉に役立ててください」と**5万円**の寄付がありました。ありがとうございました。